

第15回高校課題研究フォーラム

「高校でできるセラミックス実験」

日 時 2008年8月27日(水)

場 所 東京工業大学大岡山キャンパス

テーマ「電子顕微鏡と蛍光X線装置を使ってセラミックスを分析する」

－身近なものになりつつある電子顕微鏡や蛍光X線を使ってみませんか－

(東京工業大学・桜井 修)

テーマ「セラミックスの熔融プロセスの初歩 －着色・発光ガラスの作製－」

(東京理科大学・安盛敦雄)

平成20年8月27日に東京工業大学大岡山キャンパスにおいて、第15回高校課題研究フォーラムが開催され、実験施設を使用しての実習及び講義を実施した。参加者は15名であった。

東京工業大学の桜井先生による「電子顕微鏡と蛍光X線装置を使ってセラミックスを分析する」では、最初に装置の概略説明が行われた後、電子顕微鏡と蛍光X線装置の2班に分かれてそれぞれの装置を使っての実習を行った。

午後の最初は、今年からの企画として、セラミック科設置の高校の先生による下記2件の研究発表が行われた。

発表1 「ネットワークを利用した窯の温度制御」

愛知県瀬戸窯業高校 松田 真樹

発表2 「鑑賞型有田焼伝統工芸 e-Learning 教材の開発」

佐賀大学文化教育学部 准教授 中村隆敏 (元有田工業高校)

後半は、東京理科大学の安盛先生による「セラミックスの熔融プロセスの初歩 －着色・発光ガラスの作製－」で、講義による概略説明の後に、着色ガラスフリットと板ガラス基板を用いて演示実験が行われた。



